

(社) 日本建設業連合会 会長 殿



謹啓 初春の候、貴台にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴連合会におかれましては、平素から警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、東日本大震災の復旧・復興対策につきまして、被災地域に寄り添った様々な活動をなされている皆様方に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

さて、昨年の交通事故情勢につきましては、交通事故による死者数（事故後24時間以内の死者数）は、4,611人で、11年連続の減少となり、発生件数及び負傷者数も7年連続で減少しました。

これも、貴連合会を始めとする関係各位の御尽力の賜であり、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、いまだ多くの尊い命が交通事故の犠牲となっており、その約半数を65歳以上の高齢者が占めているほか、飲酒運転を始めとする悪質・危険な違反に起因する交通事故が後を絶たないなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

警察といたしましては、こうした現状を重く受け止め、交通事故実態に即した効果的な街頭活動、地域や職場に根ざした体系的な交通安全教育、悪質性・危険性・迷惑性の高い交通違反の交通指導取締り、交通安全施設の整備充実等の諸対策を推進してまいります。

また、良好な自転車交通秩序の実現に向け、自転車利用者に対するルールの周知徹底や自転車の通行環境の整備などの総合対策を推進することとしております。

昨年3月に決定された「平成27年までに24時間死者数を3,000人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」との目標の達成に向け、今後も引き続き、関係機関・団体の皆様と協力しながら交通事故による犠牲者を一人でも少なくすることができますよう、交通事故防止対策を進めてまいりたいと考えておりますので、なお一層の御尽力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴連合会の益々の御発展を祈念申し上げます。

敬具

平成24年1月4日

警察庁交通局長
石井 隆

